

南日本情報処理センター竣工式

IT産業の新拠点に

（南日本情報処理センター・鹿児島市）は20日、（黒坂信彦社長、本）鹿児島市東開町の現地で



完成を祝し、テープカットを行う関係者
＝鹿児島市東開町の新社屋で

新社屋竣工式を開き、関係者100人が出席し、IT産業における新たな拠点施設の完成を祝った。

竣工式では初めに、東條正博（東条設計代表取締役社長、井之上正敏（大林組相談役）7人がテープカット。会場を移して開かれた祝賀会では、

初めに黒坂社長が「今年で創業33年を迎え、新社屋も無事完成し、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。これからも顧客満足度の充実に頭を悩ましてまい進していきたく」と挨拶。続い

九州支社長らが祝辞を寄せた。

新社屋は鹿児島市東開町4-104で、平成13年5月に本体に着手し、今年3月に完成した。建物規模は、SRC造5階、延べ約6200平方メートル。総事業費は約19億3000万円。

施工業者は次の通り。本体＝大林組▽電気設備＝九電工▽空調・衛生設備＝高砂熱学工業▽設計・監理＝日建設計・東条設計JV

薩摩若鷲会が奉仕作業

「平田勲負」像の清掃に汗

県農工産業連合会（林民郎会長）は19日、鹿児島市の平田公園で薩摩若鷲会の会員約50人が参加



汗だくなり銅像の清掃に精を出す会員
＝鹿児島市の平田公園に

木に携わる者の手本として平田勲負を尊敬し、毎年同時期に実施している。当日は若鷲会の鶴留照美会長をはじめ、鹿屋、指宿など県内各地から会員が参加。まず林会長から激励の言葉を述べ、銅像の清掃や公園周辺の作業を開始した。平田勲負銅像の清掃では足場を組んでブラシを使って隅々まで水洗いして、ワック

第17回「日建市」
各社の新製品に賑わい



開催に先立ち行われたテープカット
＝鹿児島市のIHI鹿児島工場内で

「新しい製品をぜひご覧いただき」との言葉をかけ、各社の新製品がずらりと展示販売された会場には、約1100人が

建設機械の春の大展示会「第17回日建市」が今年も18日から20日までの3日間、鹿児島市の石川島播磨重工業鹿児島工場で開催され、各社の新製品がずらりと展示販売された会場には、約1100人が

九州地区溶接技術競技会

45人が日頃の成果競う

日本溶接協
技術検定委

日本溶接協会九州地区溶接技術検定委員会（加藤光昭委員長）は19日、鹿児島市のポリテクセン

ター鹿児島で第33回九州地区溶接技術競技会を開



真剣な表情で競技に挑む出場者ら
＝鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で

き、九州・沖縄各地の代表者が被覆アーク溶接（手溶接）の部に22人、炭酸ガスアーク溶接（半自動溶接）の部に23人の計45人が出場し、日頃の成果と技術を競い合った。開会式では冒頭、加藤委員長が「溶接は物づくりの基本であり、皆さんはその最先端に立っていただいています。コンクールでは規則・ルールに基づいて、プレッシャーも感じるでしょうが日頃の鍛錬、成果を発揮し楽しんで望んでほしい」と挨拶。



草払い等に汗を流す社員ら
＝鹿児島市伊敷町の甲突川右岸で

（富士産業（徳田敏郎社長）は17、18日の両日、鹿児島市の市道小野・山手線の同社本社前から伊敷町石井手取水場までの1.5キロ区間の雑草伐採や樹木の枝切りなどの奉仕作業を実施し、地域の生活道路が見通しよくなり、地域住民から喜ばれた。

毎年恒例となった奉仕作業は、会社前を通る道路に樹木などが散乱した

富士産業が奉仕作業

地域生活道路を清掃

この日は、4トングや草刈り機、くま手、スコップ、ホウキなどを持って事務所に集合。作業を前に、徳田社長が「日頃、地域の方々には工事等で迷惑をかけることも多い一方、理解と協力を頂き、感謝している。今日は、奉仕の心と感謝